

The TENDAI journal

令和6(2024)年 10月1日 火曜日
(毎月1日発行) 1部80円(消費税込・送料別)

天台ジャーナル

発行所：天台宗出版室
発行人：出版室長 小林 祖承
〒520-0113 大津市坂本4-6-2
天台宗務庁内 電話：077-579-0022(代)
Eメール：t-press@tendai.or.jp

広報天台



イタリア・ローマに本部を置くカトリックの信徒団体「聖エジディオ共同体」が主催する第38回「世界宗教者平和の祈りの集い」が9月22日から3日間、フランス・パリで開催された。テーマ「平和を想像する」のもと、世界各国から千人を超える諸宗教代表者らが出席。天台宗からは名誉団長・天台宗国際平和宗教協力協会顧問の小堀光實三千院門跡門主はじめ、団長の大澤貫秀宗議会議長ら9名の使節団を派遣し、諸宗教代表者らと平和への祈りを捧げ、真摯な対話を重ねた。

第38回 世界宗教者平和の祈りの集い フランス・パリ

「平和を想像する」をテーマに
諸宗教代表者らが対話

「世界宗教者平和の祈りの集い」は、1986年に当時のローマ教皇ヨハネ・パウロ二世聖下の呼びかけによりイタリア・アッシジで始められたもので、以来、ヨーロッパで都市を変えながら年一度開かれていた。

小堀名誉団長と大澤団長のほか、天台宗からは岩田真亮天台宗参務・教学部長と青木円学延暦寺副執行・管理部長が副団長として参加した。

パレ・デ・コングレ・ド・パリでの開会式では聖エジディオ共同体創設者のアンドレア・リッカルディ教授が集いの歴史を振り返った上で、今大会の開催意義を強調。また、フランスのマクロン大統領やパリのアンヌ・イダルゴ市長らがスピーチし、世界で起こる諸問題解決に向けた宗教者の議論に期待を寄せた。

23、24日は、パリ中心部の各会場で21の分科会が行われ、その一つで小堀名誉団長は「偉大なるアジア宗教の課題」と題して講演した。

小堀名誉団長は「あらゆる宗教が混在するアジアには、多様性こそが価値と魅力であり大変重要な点である」と述べ、経済発展が著しい反面、いまだアジア全体で6億人以上が貧困問題に直面していると指摘。そして伝教大師の『忘己利他』を紹介し「たとえ戦争がなくとも、貧困や差別、人権侵害がはびこる社会は平和とは言えない」と訴え、「ひとつの価値観や正義だけで縛るのではなく、他を認め尊重し合う、これこそがそれぞれの命を尊ぶことであり、この集いの趣旨とも響き合うものであると確信している。個々の宗教、個々の文化を尊重し合い、助け合う。アジアはこれからそのことに向かわなくてはならないという方向性を示した。

最終日の夕刻には、各宗教・宗派による平和の祈り法要が市内各所で営まれ、日本仏教世界平和祈願法要を小堀名誉団長の導師のもと奉修。続く閉会式では「平和宣言文」が採択され全日程を終えた。

令和6年能登半島地震、またこの度の令和6年9月能登半島豪雨により被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。皆様の心の平安と、一日も早く日常が戻ることを願い、天台宗は支援を継続してまいります。

天台宗
一隅を照らす運動総本部

極微

世界の総人口が82億人を超えているという。2010年から約10億人増え、今後も増え続ける見込みだ。人口が増えたのはアジアやアフリカ地域にある国々だそう。一番人口の多い国は今まで中国で、14億人を超えていたが、同じく14億人を超えたインドが追い抜いたと聞く。また、2080年代には世界人口は100億人を超えると予想されている▼そう聞いているのが、今、地球が直面している温暖化などによる「気候変動」という問題だ。人口増大の予想は、このままの環境が維持されるということが前提と思うがどうか。そこには「気候変動」による影響は考慮されていない気がする。今後、環境の悪化がますます進行し人類の生存を脅かす事態にならないとも限らないのだ。未だ経験したことのない危機なだけに、どうやっていかか心配だ▼事実、人口増が予想されるアジア・アフリカなどの発展途上国では、厳しい干ばつや洪水にたびたび襲われている。温暖化の元凶といわれる二酸化炭素放出量では先進諸国に比べ圧倒的に少ない国々が、今、先進国に対して強力な対策を求めている。自分たちの責任は小さく、影響は大きいのだから無理もない。日本も今後は一段と厳しい対応を迫られる。ことはこの地球を救えるか否かの問題だけに、本腰を入れなければならぬであろう。